



# やまばと通信



2023.1.1発行  
第 253号  
多摩市立図書館  
042-373-7955



あけましておめでとうございます。令和5(2023)年の干支は、「卯(う)」です。「卯」はその跳び姿から「飛躍」、「向上」を象徴すると親しまれています。

中央図書館が開館するこの年にさらなる「飛躍」と、図書館サービスの「向上」に努めてまいります。今年也多摩市立図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

参考文献:『アイデアいっぱい!はんこ工房』(ニ玄社)・『日本の文様解剖図鑑』(エクスナレッジ)

## 図書館本館閉館・中央図書館開館の記念となるイベントを実施します!

### ① 閉館・開館カウントダウン

【内 容】令和5年5月7日をもって閉館する図書館本館の閉館100日前(1月27日)からカウントダウンを行います。図書館ならではのカウントダウンをぜひ楽しみにしてください。また、7月1日の中央図書館開館に向け、開館50日前(5月12日)から、中央図書館の開館が楽しみになるようなカウントダウンを行いますので、こちらもご期待ください。

### ② 「本館の思い出」や「中央図書館でやりたいこと」のメッセージを大募集!

【内 容】「本館の思い出」・「中央図書館でやりたいこと」・「図書館で借りた思い出の1冊」の3つのテーマでメッセージを募集します。メッセージは館内等で掲示、紹介します。

【募集期間】令和5年1月27日(金)～5月7日(日)

【応募方法】図書館全館に設置する用紙に記入し、館内の応募箱へ投函してください。

### ③ 図書館本館閉館・中央図書館開館記念イベントをみなさんと協働で実施します!

【内 容】令和5年1月4日(水)まで、図書館本館閉館・中央図書館開館記念イベントのアイデアを、皆さまから募集しています。応募いただいた中から、本館の思い出が深まるものや、中央図書館の魅力を発信できるイベントを皆さまと協働で実施する予定です。イベントが決まりましたら、改めてお知らせします。

○詳細は図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.library.tama.tokyo.jp/contents?4&pid=2222>



## 特別企画

# 山花郁子氏 × 久保つぎこ氏 × 阿部裕行市長 多摩市立中央図書館の開館に寄せて

## 新春対談

皆さん、あけましておめでとうございます。今年はいよいよ多摩市立中央図書館オープン之年です。記念すべき年の初めにあたり、多摩地域を中心に長年に亘り子どもの読書活動の推進にご尽力され、現在も活動を続けておられる山花郁子氏（調布市公民館長等を歴任）と久保つぎこ氏（著述業・朗読・講演）をお迎えし、阿部市長と3人で、図書館を取り巻く状況について、多摩市の将来などについて語り合いました。

市長 自身は市長になって4期目に入りました。市長になる前は日本新聞協会に勤めており、メディアの世界にいたので、常日頃より読書の重要性をひしひしと感じていました。そこで中央図書館を具体化していく段階においては、ノンフィクション作家の柳田邦男先生に基本構想策定委員会にご参画いただき（座長）、「知の地域創造」というビジョンが出来ました。また柳田先生は子どもの読書や絵本についても造形が深いので、子どもの読書環境の充実についてもご助言いただきました。そして新たな図書館も引き続き、直営により運営していきます。文字・活字文化の振興は自治体の責務です。私は日本語を深く理解し、次の世代に継承していくことは、とても大切な事業であると考えています。

山花氏 今日、私は1972年発行の調布市立図書館報を持ってきました。その中に「種から芽がでて、文庫活動のバイオニア」というタイトルで多摩市の文庫活動を紹介しています。それが、多摩市立中央図書館のオープンで、さらに大きくなっていくのだなあとと思うと、とても嬉しく感じ、希望が湧きます。

久保氏 私はいつも、どうすれば公共図書館が私たちの生活の中で、もっと身近なものになるのか？と考えています。長年、子どもたちと接する活動をしているのですが、いつも思うのは「自分の頭で考えることが出来る子どもに育てほしい」ということです。子どもにとっても、公共図書館の果たす役割はとても大きいと感じるものですから。



長年に亘り子どもの読書支援活動をされている山花郁子氏（左）久保つぎこ氏（右）



図書館の役割について語る阿部市長

私が市長になる前、日本新聞協会にいた時から活字離れは大きな課題でしたので、図書館を何とかしていかなければと思っていました。公共図書館はどんな時代でも、人類の文化継承のための知識の宝庫です。また学校では学校図書館司書、司書教諭の役割がとても大きいと考えています。そして乳児期のブックスタート活動、その後の幼稚園、保育園に入る前の本を通じてのコミュニケーションなど「切れ目のない読書支援」が必要です。今、多摩市立図書館と関係機関が協力して、児童館、保育園等での読書環境の充実に力を入れています。

山花氏 私は武蔵野市立図書館の「読書動機づけ指導」に40年間関わってきました。この活動は毎年度小学校3年生を対象に、絵本・文学作品・科学よみもの・ノンフィクション・詩の分野別に約30冊を、各教室で1時間にわたり紹介します。本の選定は講師・学校長代表・学校図書担当職員・図書館職員が中心になって行います。私は特に詩の朗読に力を入れて、子どもとの会話を楽しんでいます。常に「子どもと本」の出会いのきっかけをつくる役割はとても大切だと思っています。それで市長さんが図書館活動に大きな関心を寄せられていることを知って、とてもうれしいです。

市長 「詩」で思い出しました。谷川俊太郎氏の作品で「へいわとせんそう」という絵本があります。この絵本は、「へいわのボク」と「せんそうのボク」からはじまります。人々の生活が戦争により大きく変わってしまうということ、言葉と「絵」で見事に表現されていて、強いメッセージを感じます。最近出版された絵本ではないのですが、今、ウクライナで起きていることに通用すると思います。



最近、感銘を受けた絵本を阿部市長が紹介

山花氏・久保氏 谷川氏の感性は本当に素晴らしいと思います。

久保氏 少し話が変わりますが、私が住んでいる公団住宅の規模は小さいのですが、会合をすると80歳～90歳の方が参加をし、仕事をされています。自分たちの経験を活かして、多摩市の子どもたちが暮らしやすいようにと頑張っています。

市長 多摩市もニュータウン開発があったので急激に高齢化している街ですが、全国を見ても65歳以上が3割を超えている自治体のほうが圧倒的に多いという状況です。

久保氏 これからどうなっていくのでしょうか？私たちの市は？

市長 今、多摩市では高齢者がポジティブに前向きに生きていけるよう、「介護予防教室」「健康まちづくり」などを進めています。地域の中で、訪問看護師、ケアマネジャー、市の職員が協力してやっていきたいと考えています。その中で図書館は市民の生涯学習や文化活動の拠点であり、大切にしていきたいと思っています。

久保氏 市の事業に協力している人にも高齢者が多いのですが、皆さん、多摩市を活力のある街にしたいと心をこめて働いていらっしゃるのでしょうか。

市長 その想いが若い世代の方、子どもたちに伝わり、新たな活動につながってほしいと思います。中央図書館への期待をお聞かせください。

山花氏 中央図書館には、乳幼児から大人まで、地域づくりの拠点ともなる役割も期待されると思います。日々歩む図書館道にいつも咲いている本の花。お好みの花を選んでプレゼントする楽しみもまた格別ですね！図書館員の生き生きとした明るい笑顔が、何よりの市民サービスに繋がると 생각합니다。

久保氏 私はですね、図書館には、幼児、小さい子のためにがんばってほしいと思います。今、どこを歩いても、大人はスマホに夢中ですね。子どもそっちのけで親がマンガを読んでいたりがしてね。子どもって、よくみるとかわいいものなのに。かしこくて自然のまんまで。

市長 お二人の中央図書館に対する期待、特に子どもや若い世代への想いをお聞かせいただきましてありがとうございます。

最後に、多摩市在住のコピーライター、デザイナー 小亀たく氏が最近出版された絵本「じーさんとびーぽぽ」を紹介します。この街で幸せに生きていく光景を共に感じていただければと思います。私が読ませていただきます。（市長より絵本の読み聞かせ）

山花氏・久保氏 本当に楽しい対談をありがとうございました。これからの中央図書館に期待しています。



「へいわとせんそう」  
たにかわしゅんたろう/ぶん  
Noritake/え  
ブロンズ新社  
2019.3発行



「じーさんとびーぽぽ（創作絵本シリーズ）」  
小亀たく/著  
みらいパブリッシング  
2022.7発行

### 山花郁子（やまはな いুক）氏のプロフィール

1931年東京都本所区業平橋生まれ。調布市在住。元調布市公民館長・教育委員・図書館司書。平成15年度に子どもの読書活動優秀実践者として文部科学大臣表彰を受賞。東京都立図書館など全国各地で講演を行っている。  
主な著書 「わかれ道おもいで道一本所業平橋ー（創作児童文学5）」（久米宏一/絵 岩崎書店）  
「いちわのにわとり」（つだろとう/え かど創房）

### 久保つぎこ（くぼ つぎこ）氏のプロフィール

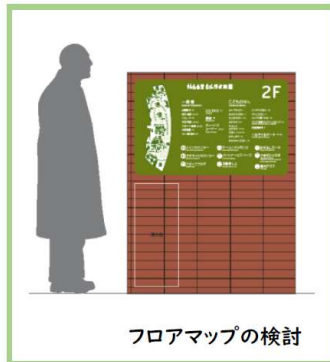
1943年神奈川県山町生まれ。多摩市在住。劇団民藝で俳優業7年ののち著述業・講演。図書館（豊ヶ丘）の活動等。自宅で朗読の会も開催。元多摩市図書館協議会委員。  
主な著書 「7月6日はれのちけんか（講談社の新創作童話6）」（田中楨子/絵 講談社）  
「君たちは忘れないー疎開保育園物語ー」（草土文化）のちに「あの日のオルガンー疎開保育園物語ー」（朝日新聞出版から刊行）となり、映画化。  
「小説 となりのトトロ（アニメージュ文庫 N-032）」（宮崎駿/原作・絵 徳間書店）

# 中央図書館整備だより

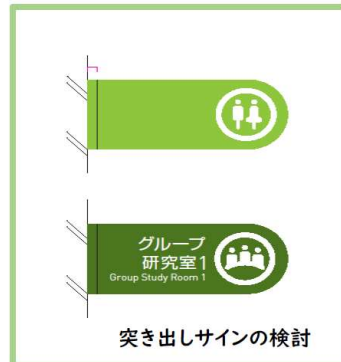
## 第17話「サイン計画」

多摩市立図書館では、令和5年7月の開館を目指して、中央図書館の整備に取り組んでいます。  
「中央図書館整備だより」では、中央図書館の新しい取り組みにスポットを当てて紹介していきます。

サインは図書館の使いやすさを左右する重要な要素です。どなたにでも見やすく、分かりやすくを念頭に中央図書館専用のデザインで制作してもらっています。具体的には総合案内やフロアマップ、室名サイン、書架サインなどなど。館内外のあらゆる場所に掲示し、来館される皆さんをスムーズに誘導します。カラーはグリーン系で複数色、室名サインにはオリジナルのピクトグラムを採用しています。現在、デザインはあらかじめ決定し、サンプルや原寸の確認作業を行っている段階です。



フロアマップの検討



突き出しサインの検討

## ☆中央図書館の開館準備に伴うサービスの変更について☆

### 1. 予約受付の変更について

中央図書館の開館準備に伴い、令和5年5月8日から6月30日まで、図書館本館は閉館します。閉館期間中は順番が回ってきた予約資料を本館では受け取りができなくなります。ご予約された資料が受け取れない事態にならないよう、令和5年2月から段階的に受取館に「本館」を選択できなくなります。ご理解のほどお願いします。

#### ① 多摩市に所蔵がない資料のリクエスト(未所蔵の新刊・他自治体からの借用資料の提供)

【対象期間】令和5年3月2日(木)～3月31日(金)

図書館に所蔵がない新刊および他自治体からの借用資料は、受取館に「本館」を指定できない場合があります。

※国立国会図書館からの借用資料は、令和5年2月2日(木)から、受取館に「本館」を指定できなくなります。

#### ② すべての予約およびリクエスト

【対象期間】令和5年4月1日(土)～6月30日(金)

図書館の所蔵ありなしに関わらず、予約・リクエスト(①を含む)の受取館に「本館」を指定できなくなります。

#### ③ 本館・書庫館・団体室・児童書庫に所蔵がある資料の検索・予約

【対象期間】令和5年4月29日(土)～6月30日(金)

本館・書庫館・団体室・児童書庫に所蔵している資料の検索および予約ができなくなります。

※本館・書庫館・団体室・児童書庫以外の図書館(行政資料室含む)に所蔵している資料は、引き続き検索や予約が可能です。

### 2. 障がい者サービスの拠点館変更について

現在、永山図書館で行っている障がい者サービスの業務が中央図書館に移転します。

障がい者サービス資料(点訳資料・音訳資料)、関係機器も併せて移転します。

移転期間中のサービスの変更等につきましては、後日別途お知らせ予定です。

※永山図書館の対面朗読室、録音室、障がい者サービス室は業務移転後も引き続きご利用できます。

やまばと通信第251号(2022年9月1日発行)1面の統計に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

|             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| ・多摩市内在住登録者数 | 誤: 37,530人    | 正: 37,460人    |
| ・個人貸出点数     | 誤: 1,476,701点 | 正: 1,476,710点 |
| ・おはなし会      | 誤: 67回実施      | 正: 167回実施     |